



六郷中だより

六郷中学校だより第9号

令和6年9月26日

<六中HP>



発行・文責：校長 渡邊 賢

桜樹祭の成果を次につなげて

9月14日（土）好天に恵まれ、おかげさまで無事第62回桜樹祭を実施することができました。

当日受付で確認させていただいた参観者数は、保護者84人、来賓を含めた一般の参観者が17人でした。閉祭式まで1日を通すと、おおよそのべ150人を超える皆様にご参観いただきました。たくさんのご声援をいただき、子どもたちの大きな励みになりました。心より感謝申し上げます。

引き続き六中生を励まし、応援していただきたいです。よろしくお願いします。また、アンケートより様々なメッセージをいただきました。来年度さらに改善できるところは改善し、生徒たちにとってよりよい桜樹祭にしていきたいと考えます。重ねて、今後とも六郷中教育に、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

テーマ「繋」にふさわしいオープニングと、生徒会長の立派な挨拶がありました。



六郷中学校生徒全体のまとまりを強く感じ、取組期間から当日に至るまで、生徒一人一人がコツコツと努力した成果を出し切っていました。心に残る素晴らしい桜樹祭でした。



【いただいた感想を紹介します】

生徒たちの頑張っている姿を見て、とても感動しました。繋のテーマのように一人一人お互いに助け合ってつくりあげた桜樹祭だったと思います。～中略～ これからも生活していく中で、お互いに思いやりをもち、助け合って進んでいってください。

学年演劇はどの学年も素晴らしい出来映えでした。

1年生は、教科書同士の優劣決めがあり、少しずつ勉強に前向きになっていく生徒を演じました。丁寧に練習し、自分にできる力を十分に発揮できた素晴らしい演劇でした。

2年生は一目でキャラクターのわかる役柄で、それぞれのキャラがたった演技がはえました。昨年度の経験の上に成り立った素晴らしい発表でした。

3年生はそれぞれのキャストの個性が際立ち、まとまりのある演劇で、演技力、表現力を感じさせる素晴らしい作品でした。キャストと音響や照明などのスタッフが1つになって学年全体でつくりあげた演劇です。1つのものをつくりあげた経験は他のものに応用できます。学園祭で頑張ったこと、苦労したことを1、2年生はこれからの学校生活に、3年生は進路決定に生かしてほしいです。



い歌声が体育館に響き、思い出に残りました。

暑さの中それぞれの系列が一つになった体育の部、3年生のまとまりのあるパフォーマンス、打ち上げ花火、思い出がたくさんできました。

昨年度から再開された全校合唱。全校が一体となった歌声はたくさんの人の心に伝わりました。気持ちよ